

卸団地のあゆみ



昭和58年
(1983年)

- 4月 ●那覇市内の卸売業者 91社が中心となって「沖縄県卸商業団地推進協議会」を結成し業界の推進体制作りが始まる
- 6月 ●沖縄県卸商業団地推進協議会で先進地視察を実施 (広島、福岡、鹿児島卸団地)
- 12月 ●「沖縄県卸商業団地協同組合」を設立し、儀間紀善氏が初代理事長に就任する (設立時出資金 3,086万円)

昭和59年
(1984年)

- 2月 ●沖縄県、沖縄総合事務局、浦添市、那覇港管理者へ卸団地の必要性和用地埋立について要請する

昭和61年
(1986年)

- 2月 ●浦添市土地開発公社が卸団地用地の埋立を開始する (牧港米軍補給地区の公有水面埋立地 小湾地先)



昭和62年
(1987年)

- 12月 ●沖縄県、中小企業庁へ高度化事業 (店舗等集団化事業) に係る卸団地建設の推進について要請する

昭和63年
(1988年)

- 8月 ●組合が行う共同事業をサポートするため全額、組合出資による沖縄卸商業団地 (株) を設立する
- 9月 ●卸団地用地の埋立が完了する
- 12月 ●卸団地用地の地名が西洲 (いりじま) に決まる



平成元年
(1989年)

- 3月 ●組合が浦添市土地開発公社より卸団地用地を一括購入する (面積 269,110.92m²)
- 4月 ●沖縄県より、卸団地用地取得にかかる高度化資金の貸付を受ける。
- 9月 ●第1次進出組合員23社が社屋建設工事を開始する
- 11月 ●組合事務所、会議室、警備室、地元銀行が入居する「組合会館」の建設を着工する
- 12月 ●「共同給油所」の建設を着工する



平成2年
(1990年)

- 2月 ●第2次進出組合員40社が社屋建設工事を開始する
- 3月 ●「組合会館」「共同給油所」が完成し、「共同給油所」が営業を開始する
●共同金融事業 (組合員への転貸融資) を開始する
- 5月 ●第1次進出組合員が卸団地へ移転、営業を開始する
●共同警備事業を開始する
- 6月 ●組合会館の新築落成記念式典を行う
- 9月 ●「共同駐車場」及び「運動広場」の新設工事を着工する
- 10月 ●組合会館内に琉球銀行商業団地支店、沖縄銀行商業団地支店が開店する



平成3年
(1991年)

- 1月 ●第2次進出組合員が卸団地へ移転、営業を開始する
- 2月 ●「共同駐車場 A・B・C」(収容台数 561台) が完成する
●「運動広場」が完成する

卸団地のあゆみ



平成4年 (1992年)	1月	● 共同事業利用料金の自動口座引落しを開始する
	3月	● 西洲入口に交通信号機が設置される
	7月	● 九州卸商業団地厚生年金基金に加入する
	10月	● 「輸入品フェア&卸団地祭りin西洲」を開催する
平成5年 (1993年)	4月	● 西洲から米軍基地(キャンプキンザー)を通り抜け、国道58号線へ出る仮設道路(基地内道路)が開通する
	5月	● 那覇港臨港道路(なうら橋)が開通する
平成6年 (1994年)	4月	● 賦課金及び高度化資金返済積立金の自動口座引落しを開始する
平成7年 (1995年)	8月	● 卸団地内が駐車禁止地域に指定され、駐車禁止標識が設置される
平成8年 (1996年)	9月	● 1億5千万円増資し、組合の出資金が6億7,605万円となる
平成9年 (1997年)	4月	● 卸団地内交差点に暴走族排除のためのゼブラ舗装が敷設される
	9月	● 沖縄県知事より運動広場の転用が承認され、配送センターの建築工事を着工する
平成10年 (1998年)	2月	● 配送センターが完成し、(株)沖縄急送が入居する
	8月	● 駐車場不足に対応するため、浦添市土地開発公社の土地を借用して、共同駐車場Dの新設工事を着工する
	9月	● 共同駐車場Dが完成する(収容台数234台)
	10月	● 卸団地内道路に暴走族排除のためのチャッターバーが敷設される ● 共同駐車場Dに外灯を設置する
平成12年 (2000年)	4月	● 組合ホームページを開設する
	12月	● 卸団地入口(小湾橋)交差点に信号機が設置される
平成13年 (2001年)	4月	● 共同金融事業の転貸融資を廃止する
	5月	● 共同駐車場Dの拡張工事を着工する(追加台数110台)
	7月	● 中国視察実施(参加者18名)
	8月	● 沖縄県へ組合及び組合員の高度化資金借入金を一括繰上げ償還し、金融機関より借り換えを行う
	11月	● 中国視察実施(参加者13名)
平成14年 (2002年)	6月	● 組合会館2階の増改築工事を着工する
平成15年 (2003年)	3月	● 卸団地内への夜間車両通行規制が実施される(通行許可証の交付)
	4月	● 組合会館2階の増改築工事が完了し、共同施設運営事業を開始する
	9月	● 組合創立20周年記念事業を実施する
	12月	(チャリティゴルフ大会、ゆいまーる献血、クリーンアップ清掃)
平成17年 (2005年)	11月	● 浦添市と「美らまちサポーター」を協定し、毎月第3火曜日に、卸団地一斉清掃を開始する
	12月	● 土地の所有権を組合から組合員へ移転する手続きが完了する
平成18年 (2006年)	5月	● 第23回通常総会で儀間紀善理事長が退任し名誉会長に就任、赤嶺克己副理事長が2代目理事長に就任する
平成19年 (2007年)	6月	● 浦添市と「災害時における物資の供給に関する協定」を締結する
	8月	● 準組合員制度を創設する
平成21年 (2009年)	1月	● 那覇港浦添ふ頭地区公有水面埋立工事が着工される(卸団地北側臨港道路)
平成22年 (2010年)	7月	● 土地の有効利用を図るために、沖縄県卸商業団地建築協定者会議を開催する
	8月	● 共同駐車場Cに外灯を設置する
	10月	● 卸団地開設20周年事業を実施する
	11月	(クリーンアップ清掃、献血)

卸団地のあゆみ



平成23年
(2011年)

- 1月 ●卸団地開設20周年記念祝賀会を盛大に開催する
- 3月 ●日本赤十字社沖縄支部を通して、東日本大震災被災者に義援金を贈る
- 4月 ●共同駐車場Dの拡張部分を浦添市土地開発公社に返還し、共同駐車場の収容台数が合計801台となる
- 10月 ●沖縄で初めて、全国卸商業団地協同組合連合会事務局長会議が開催される
- 12月 ●浦添市より沖縄県卸商業団地建築協定の変更が認可され、建築物の用途に貨物運送業、託児所、小売店舗が追加される



平成25年
(2013年)

- 6月 ●組合ホームページをリニューアルする
- 9月 ●組合会館に防水、塗装塗り替え工事を施工する
- 10月 ●浦添市防災危機管理室による西洲地区津波避難訓練に参加する(参加者110名)
- 12月 ●組合創立30周年を迎える
●組合会館の防水、塗装塗り替え工事が完了する



平成26年
(2014年)

- 2月 ●組合創立30周年記念事業を実施する(記念式典・祝賀会、初代理事長胸像除幕式、ベトナム視察研修、社会福祉団体等への寄付)
- 4月 ●組合会館警備室にAED(自動体外式除細動器)を設置する



平成27年
(2015年)

- 4月 ●共同駐車場Aの区画線の引き直しにより収容台数が45台増加し、合計846台となる
- 5月 ●委員会機能を部会に移し委員会を廃止した
●沖縄タイムス社を通して、ネパール大地震被災地へ義援金を寄付する
●メッシュ・サポートに協賛金を寄付する
- 12月 ●沖縄卸商業団地(株)の損害保険業務を組合の共同事業に引き継ぐ

平成28年
(2016年)

- 3月 ●共同駐車場A・Bに外灯を設置する
- 4月 ●沖縄タイムス社を通して、熊本地震の被災者に義援金を謹呈する
- 8月 ●沖縄タイムス社が運営する「沖縄子ども未来プロジェクト」に寄付金贈呈を始める
- 12月 ●共同駐車場Cの緑地帯撤去及び区画線の引き直しにより収容台数が27台増加し、合計873台となる

平成29年
(2017年)

- 5月 ●部会の業種構成を見直し、三部会を二部会に編成する



平成30年
(2018年)

- 3月 ●臨港道路浦添線及び浦添北道路が開通する(浦添西海岸道路)
●共同駐車場Dの臨港道路側に歩行者用出入口を設ける
- 5月 ●第35回通常総会で赤嶺克己理事長が退任し、池原一則副理事長が3代目理事長に就任する
- 6月 ●共同駐車場Dの追加整備工事をを行い車両収容台数が134台増加し、合計1,006台になる
- 8月 ●琉球新報社を通して、西日本豪雨の被災者に義援金を謹呈する
●卸団地内道路における敷設距離が長いチャッターバーの一部が撤去される
- 9月 ●那覇市曙の企業主導型保育所「アスクあけぼの海宝保育園」の利用紹介を開始



令和元年
(2019年)



- 5月 ● 共同駐車場の名称を第1～第5契約駐車場に変更する
- 6月 ● 第1契約駐車場(収容台数106台)が完成し、合計1,112台になる
- 琉球銀行商業団地支店が安謝支店内に移転する
- 8月 ● 組合会館内の琉球銀行ATMが稼働を開始する
- 12月 ● 沖縄県へ、首里城火災復旧・復興支援寄付金を贈呈する